

4.貝類

4.貝類

泡瀬地区の干潟や汽水域、浅海域で確認されている貝類は339種にのぼります。沖縄県の周辺海域には非常に多くの貝類が生息し、沖合の深みに生息する種や他の生物に共生・寄生する微少種など、今後調査を進めていけばさらに多くの種が確認されると考えられます。

泡瀬地区で一般的になじみの深い貝類の多くは、砂礫(されき)質の干潟や転石の多い潮間帯に生息しています。それらの環境で、浜下りや潮干狩りの対象になる食用貝類としては、リュウキュウサルボウ、ホソスジヒバリガイ、リュウキュウザルガイ、イソハマグリ、アラスジケマンガイ、スタレハマグリなどの二枚貝があげられます。また、巻貝類としては白色の小さく堅いフタを持つカンギクもよく採取されています。

砂泥質の干潟では、おびただしい数の円錐形をしたイボウミニナが底質表面にるのが観察できます。よく見ると、砂の上を這った跡も見つかるでしょう。

海水と淡水が会うのが汽水域。代表的な汽水域である比屋根湿地では、マングローブ樹の葉や幹、気根(根)の周辺ではフトヘナタリ、ヒメウズラタマキビ、オカミミガイ類などの巻貝類が多く見つかるでしょう。

泡瀬地区では、ニライカナイゴウナという新種と考えられる小型の巻貝類の生息が確認されています。この種は、ソメワケグリなどの二枚貝類に付着して生活している奇妙な巻貝です。また、オサガニヤドリガイという奇妙な特性をもつ微少な二枚貝の生息も確認されています。この種は、メナガオサガニというカニの体表(殻の表面)に付着して生活しています。泡瀬地区の事業においては、これらの特殊な生態を持つ貝類の生息状況について、注意深く監視を行っています。

4. 貝類



オニヒザラガイ

新ヒザラガイ目 クサズリガイ科

Acanthopleura gemmata

大きさ: 体長6cm。

特徴: 大型のヒザラガイ類。潮間帯の岩のくぼみや裂け目などで見られる。背面は棘で被われる。

分布: 奄美諸島以南: インド・西太平洋。

干潟



ニシキウズ

古腹足目 ニシキウズガイ科

Trochus maculatus

大きさ: 殻高5cm。

特徴: 殻は円錐形。サンゴ礁域で普通に見られる。写真の個体は幼若個体。

分布: 紀伊半島以南。

サンゴ礁



オキナワイシダミ

古腹足目 ニシキウズガイ科

Monodonta labio

大きさ: 殻高1.7cm。

特徴: 殻表面に発達した顆粒が見られる。干潟上の転石の裏などに多数附着している。

分布: 奄美諸島以南。

干潟



ヒメアワビ

古腹足目 ニシキウズガイ科

Stomatella impertusa

大きさ: 殻幅1.5cm。

特徴: アワビの名を持つが、異なる仲間である。殻の表面は、光沢があり、色彩は変異に富む。驚くと足を自切する。

分布: 房総半島・能登半島以南。

藻場

4. 貝類



カンギク

古腹足目 サザエ科

Turbo coronaatus coronatus

大きさ: 殻幅3cm。

特徴: 殻は重厚で、白い硬質のフタを持つ。潮間帯の転石などに付着し、潮干狩りで採取されるなじみ深い種。

分布: 紀伊半島以南。

干潟



コシダカアマガイ

アマオブネガイ目 アマオブネガイ科

Nerita striata

大きさ: 殻長1.5～3cm。

特徴: 大型のアマオブネガイ類。殻は厚く、石灰質の蓋を持つ。護岸の隙間や、転石の隙間などで見られる。

分布: 奄美諸島以南。

干潟



キバアマガイ

アマオブネガイ目 アマオブネガイ科

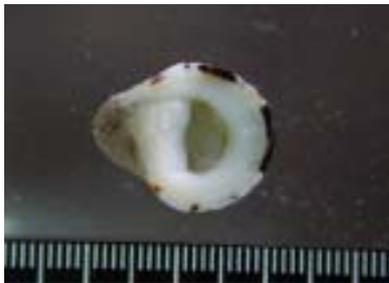
Nerita plicata

大きさ: 殻長1～2cm。

特徴: 殻口に牙状の突起が見られる。殻表面には、粗い筋(螺肋)がある。高潮線付近の護岸の隙間などに見られる。

分布: 屋久島以南。

干潟



アマオブネガイ

アマオブネガイ目 アマオブネガイ科

Nerita albicilla

大きさ: 殻長1～2cm。

特徴: 干潟の転石上や、岩礁などで普通に見られる。殻の表面には、太い螺肋が発達する。

分布: 房総半島、山口県北部以南。

干潟

4. 貝類



カノコガイ

汽水 干潟

アマオブネガイ目 アマオブネガイ科
Clithon faba

大きさ: 殻長1cm。

特徴: 本科では小型種である。殻の色や模様は多様である。淡水の流入する場所で見られる。

分布: 奄美諸島以南。



コゲツノブエ

干潟

盤足目 オニツノガイ科

Cerithium coralium

大きさ: 殻長3cm。

特徴: 砂泥質の干潟表面で見られる。殻は暗褐色で、表面には顆粒状の突起ができる。

分布: 紀伊半島以南: 熱帯西太平洋、インド洋北東部。

希少性: NT(沖)



ヒメクワノミカニモリ

干潟 藻場

盤足目 オニツノガイ科

Cerithium zonatum

大きさ: 殻長2cm。

特徴: 小型種。殻の色彩は変異に富む。海草藻場では、底質の表面でよく見られる。

分布: 紀伊半島以南: 熱帯インド・西太平洋。



カヤノミカニモリ

干潟

盤足目 オニツノガイ科

Clypeomorus bifasciata

大きさ: 殻長2cm。

特徴: 殻は重厚で、表面は顆粒状の突起が発達する。干潟のサンゴれきが優占する場所や岩盤上で主に見られる。

分布: 房総半島・山口県以南: 熱帯インド・西太平洋。

希少性: NT(沖)

4. 貝類



ウミニナカモリ

盤足目 オニツノガイ科

Clypeomorus batillariaeformis

大きさ: 殻長2cm。

特徴: 殻の形状は、カヤノミカニモリによく似る。本種の方が殻口周辺が丸みを帯びていることで識別できる。

分布: 沖縄諸島以南:熱帯インド・西太平洋域。

干潟



クワノミカニモリ

盤足目 オニツノガイ科

Clypeomorus petrosa chemnitziana

大きさ: 殻長3cm。

特徴: 岩礁の砂だまりなどで見られる。そのような場所で潮干狩りをしていると、多く出現することがある。

分布: 紀伊半島以南、南西諸島:フィリピン周辺。

干潟



ゴマフニナ

盤足目 ゴマフニナ科

Planaxis sulcatus

大きさ: 殻長2.5cm。

特徴: 老成貝の殻は重厚。干潟の転石や、岩盤などでまとまって見られることがある。

分布: 房総半島以南:インド・西太平洋域。

干潟



イボウミニナ

盤足目 ウミニナ科

Batillaria zonalis

大きさ: 殻長4cm。

特徴: 殻は円錐状で細長い。砂泥質の干潟表面に群生する。

分布: 北海道南部以南:インド・西太平洋域。

希少性: NT(沖)

干潟

4. 貝類



フトヘナタリ

盤足目 フトヘナタリ科

Cerithidea rhizophorarum

大きさ: 殻長4cm。

特徴: 干潟やマングローブ林内で見られる。垂直護岸やマングローブ樹種の幹などに付着していることが多い。

分布: 沖縄以南: 西太平洋。

汽水



ヘナタリ

盤足目 フトヘナタリ科

Cerithidea cingulata

大きさ: 殻長3cm。

特徴: 殻は細長く、殻口は大きく広がる。殻口の下側は伸張する。

分布: 房総半島、山口県北部以南: インド西太平洋域。

希少性: NT(沖)

干潟



カワアイ

盤足目 フトヘナタリ科

Cerithidea djadjariensis

大きさ: 殻長5cm。

特徴: 殻の形はヘナタリによく似るが、殻口下側の伸張は弱い。

分布: 房総半島、山口県北部以南、奄美大島、沖縄: 東南アジア。

希少性: NT(沖)

干潟



ヒメウズラタマキビ

盤足目 タマキビ科

Littoraria intermedia

大きさ: 殻長2.5cm。

特徴: マングローブ樹種の幹や垂直護岸などに付着している。軸唇(殻口の内側部分)が茶褐色を帯びる。

分布: 紀伊半島以南: インド・西太平洋。

汽水

4. 貝類



オハグロガイ

盤足目 ソデボラ科

Strombus urceus

大きさ: 殻長4cm。

特徴: 本種を含み、ソデボラ科の仲間は、殻口に湾入(すき間)があり、そこから眼をのぞかせる。

分布: 紀伊半島以南:熱帯西太平洋。

希少性: NT(沖)

藻場



ムカシタモト

盤足目 ソデボラ科

Strombus mutabilis

大きさ: 殻長4cm。

特徴: 本科では小型種。岩礁域の砂れきだまりなどで普通に見られる。

分布: 房総半島以南:熱帯西太平洋。

干潟



マガキガイ

盤足目 ソデボラ科

Strombus luhuanus

大きさ: 殻長6cm。

特徴: 沖縄では「ティラジャー」や「コマ貝」などと呼ばれる。殻の内側は、鮮やかな橙色をしている。水産種。

分布: 房総半島以南:熱帯太平洋。

藻場

サンゴ礁



スイショウガイ

盤足目 ソデボラ科

Strombus turturella

大きさ: 殻長6.5cm。

特徴: 殻は重厚で、内側は白い陶器のようである。内湾の砂泥底の潮下帯以深で見られる。

分布: 房総半島以南:熱帯太平洋。

サンゴ礁

4. 貝類



フタモチヘビガイ

盤足目 ムカデガイ科

Dendropoma maximum

大きさ: 殻幅約10cm。

特徴: 生きたサンゴに埋没して生活する。本種は粘液でクモの巣状の網を張り餌をとる。

分布: 紀伊半島以南:熱帯西太平洋。

サンゴ
礁



ホンダカラ

盤足目 タカラガイ科

Cypraea tigris

大きさ: 殻長11cm。

特徴: 大型のタカラガイ類。殻には黒い斑点が散在する。サンゴ礁の岩盤や、海草藻場の大型転石などにすむ。

分布: 三浦半島・山口県北部以南:熱帯インド・西太平洋。

サンゴ
礁



コモンダカラ

盤足目 タカラガイ科

Cypraea erosa

大きさ: 殻長4.5cm。

特徴: 小型のタカラガイ類。殻の表面には、小さい白斑が散在し、中央に暗褐色のバンドができる。

分布: 房総半島・山口県北部以南:熱帯インド・西太平洋。

藻場
サンゴ
礁



ハナピラダカラ

盤足目 タカラガイ科

Cypraea annulus

大きさ: 殻長3cm。

特徴: 潮間帯に多産する。転石の裏や岩の窪みなどに付着する。殻表面は光沢があり、橙色の縁取りができる。

分布: 房総半島・男鹿半島以南:熱帯インド・西太平洋。

干潟
藻場

4. 貝類



キイロダカラ

盤足目 タカラガイ科

Cypraea moneta

大きさ: 殻長3.5cm。

特徴: ハナヒラダカラと同所的に見られる。殻の色は、乳白色以外に黄色になるものもある。老成個体では、殻の両端が左右に伸張する。

分布: 房総半島・山口県北部以南: 熱帯インド・西太平洋。

干潟 藻場



ハウシュノタマ

盤足目 タマガイ科

Natica gualteriana

大きさ: 殻長2cm。

特徴: 殻はやや厚く、硬質の蓋をもつ。写真左にあるのは、本種の卵塊で「砂茶わん」と呼ばれる。

分布: 房総半島以南: インド・西太平洋。

干潟



アラゴマフダマ

盤足目 タマガイ科

Naticarius onca

大きさ: 殻長3cm。

特徴: 殻には黒斑が5列に並び、蓋は硬質で、外側に溝ができる。

分布: 紀伊半島以南: インド・西太平洋。沖縄全域(大東島海域等外洋域を除く)

希少性: NT(沖)

藻場 サンゴ礁



サツマボラ

盤足目 フジツガイ科

Cymatium aquatile

大きさ: 殻長5cm。

特徴: 殻は重厚。殻口は赤褐色で白いひだがある。干潟の転石裏などで見られる。

分布: 紀伊半島・八丈島以南: 熱帯インド・太平洋、大西洋。

サンゴ礁

4. 貝類



レイシダマシモドキ

新腹足目 アッキガイ科

Muricodrupa fusca

大きさ: 殻長2~2.5cm。

特徴: 本科中では小型種。殻は菱形で、表面の窪みは黒色となる。殻口の内部は紫褐色。

分布: 紀伊半島以南。

干潟



レイシダマシ

新腹足目 アッキガイ科

Morula granulata

大きさ: 殻長1.5~2.5cm。

特徴: 殻は黒色で、丸みのある黒い突起が並ぶ。殻口の外側には、歯状突起を有する。

分布: 伊豆諸島、九州西岸以南。

干潟



ウネシロレイシダマシ

新腹足目 アッキガイ科

Morula anaxeres

大きさ: 殻長1cm。

特徴: 殻の表面には、白い疣状の突起が発達する。殻口の内部は暗褐色になる。

分布: 伊豆諸島、紀伊半島以南: 熱帯インド・西太平洋。

干潟



コオニコブシ

新腹足目 オニコブシガイ科

Vasum turbinellum

大きさ: 殻長5cm。

特徴: 殻は重厚。殻の表面には、大小の突起を有する。潮間帯以深の岩礁等で見られる。

分布: 紀伊半島以南: 熱帯インド・太平洋。

サンゴ礁

4. 貝類



フトコロガイ

新腹足目 フトコロガイ科

Euplica scripta

大きさ: 殻長1.5cm。

特徴: 小型種。海草類の葉上や海藻の表面で見られる。通常殻表面は藻類で被われている。

分布: 房総半島以南。

藻場



ムシエビ

新腹足目 フトコロガイ科

Pyrene flava

大きさ: 殻長1.5cm。

特徴: 殻は茶褐色で縫合下(巻きの下部)に白い斑を持つ。殻の表面には、毛状の殻皮が発達する。

分布: 房総半島以南:熱帯インド・太平洋、紅海。

サンゴ礁

藻場



イボヨフバイ

新腹足目 ムシロガイ科

Nassarius coronatus

大きさ: 殻長3cm。

特徴: 殻は重厚で光沢がある。干潟で潮干狩りをしていると、底質からはい出してくる。

分布: 奄美諸島以南:熱帯インド・太平洋。

藻場

干潟



カニノテムシロ

新腹足目 ムシロガイ科

Pliacularia bellula

大きさ: 殻長1cm。

特徴: 砂泥質の干潟で見られる。名前の通り、殻口の形状が、カニのはさみに似る。

分布: 銚子以南:熱帯インド・太平洋。

希少性: NT(沖)

干潟

4. 貝類



ヒメオリレムシロ

新腹足目 ムシロガイ科

Niotha nodifer

大きさ: 殻長1~1.5cm。

特徴: 小型種。殻には光沢があり、明瞭な縦肋をもつ。海草藻場やその周辺の砂底に見られる。

分布: 奄美諸島以南:熱帯インド、西太平洋。

希少性: VU(沖)

干潟



シノミヨフバイ

新腹足目 ムシロガイ科

Telasco velatus

大きさ: 殻長1.5~2cm。

特徴: 殻の色は黒や橙など変異に富む。砂れき質の潮間帯などで見られる。

分布: 房総半島以南:熱帯インド・太平洋。

汽水 干潟



ノシガイ

新腹足目 エソバイ科

Eugina mendicaria

大きさ: 殻長1cm。

特徴: 殻全体にクリーム色と黒の縞をもつ。干潟上の転石裏などによく見られる。

分布: 伊豆半島以南:熱帯インド・西太平洋。

干潟



シマベッコウバイ

新腹足目 エソバイ科

Japeuthria cingulata

大きさ: 殻長3.5cm。

特徴: 殻の表面に暗褐色の縞をもつ。時に干潟上の転石裏などに複数個体がかたまって見られる。

分布: 伊豆諸島以南:西太平洋。

干潟

4. 貝類



イトマキボラ

新腹足目 イトマキボラ科

Pleuroploca trapezium trapezium

大きさ: 殻長12cm。

特徴: 殻は重厚である。殻の表面には、薄い殻皮をもち、大型の瘤状突起が発達する。

分布: 紀伊半島以南:熱帯西太平洋。

藻場



チトセボラ

新腹足目 イトマキボラ科

Fusinus nicobaricus

大きさ: 殻長15cm。

特徴: 殻の表面には暗褐色の模様をもち、水管溝は細長く発達する。

分布: 伊豆半島以南:インド・西太平洋。

藻場



ジュドウマクラ

新腹足目 マクラガイ科

Oliva miniacea

大きさ: 殻長5cm。

特徴: 殻は重厚。殻の表面は光沢を持ち、ジグザグ状の模様を有する。潮下帯の砂地にすむ。

分布: 紀伊半島以南:熱帯インド、西太平洋。

サンゴ礁



チョウセンフデ

新腹足目 フデガイ科

Mitra mitra

大きさ: 殻長8~13cm。

特徴: 殻は砲弾型で重厚。殻の表面には赤や橙の斑点が並ぶ。普段は底質中に潜っている。

分布: 紀伊半島以南:熱帯インド、太平洋。

サンゴ礁

4. 貝類



ミノムシガイ

新腹足目 ツクシガイ科

Vexillum balteolatum

大きさ: 殻長3~5cm。

特徴: 殻は厚く、全体的に角張る。殻の表面には、薄い殻皮が被る。

分布: 紀伊半島以南: フィリピン、熱帯インド・太平洋。

希少性: VU(沖)

藻場 サゴ礁



マダライモ

新腹足目 イモガイ科

Conus ebraeus

大きさ: 殻長4cm。

特徴: 小型のイモガイ類。殻の表面には、黒いまだら模様がある。干潟の転石や岩礁などで普通に見られる。

分布: 伊豆諸島以南: 熱帯インド・西太平洋。

干潟 藻場



ジュスカケサヤガタイモ

新腹足目 イモガイ科

Conus coronatus

大きさ: 殻長3cm。

特徴: 小型のイモガイ類。殻の色は薄紫で、暗褐色の不規則な模様をもつ。

分布: 八丈島・紀伊半島以南: 熱帯インド・西太平洋。

サゴ礁



イボシマイモ

新腹足目 イモガイ科

Conus lividus

大きさ: 殻長6.6cm。

特徴: 中型のイモガイ類。殻の中央に、白色のバンドをもつ。殻口から内面は、濃い紫色。

分布: 房総半島・山口県北部以南: 熱帯インド・西太平洋。

干潟 藻場

4. 貝類



クダボラ

新腹足目 クダマキガイ科

Turris crista

大きさ: 殻長8cm。

特徴: 本科は、殻口の一部(外唇)に切れ込み状の湾入を有する。殻の表面には、褐色の模様が散在する。

分布: 奄美諸島以南:熱帯インド・西太平洋。

希少性: NT(沖)

サンゴ
礁



ムシロタケ

新腹足目 タケノコガイ科

Decorihastula affinis

大きさ: 殻長4.5cm。

特徴: 本科では小型種。殻は細長い形状である。殻の表面には筵(むしろ)状の彫刻がある。

分布: 紀伊半島以南:熱帯インド・西太平洋。

藻場
サンゴ
礁



ニライカナイゴウナ

異腹足目 イソチドリ科

Leucotina sp.

大きさ: 殻長約0.5~1cm。

特徴: 本科中では小型種。殻は灰白色や黒灰色。全体的に丸みを帯び、殻の表面には殻皮を有する。詳しい生態は不明。

分布: 沖縄島中北部。

希少性: DD(沖)

藻場



コウダカカラムツガイ

基眼目 カラムツガイ科

Siphonaria laciniosa

大きさ: 殻長1.7cm。

特徴: 殻は傘型。殻の表面には、白色の放射筋を有する。潮間帯の転石に附着している。

分布: 奄美諸島以南:熱帯インド・西太平洋。紀伊半島にまで分布することもある。

干潟

4. 貝類



シノミミガイ

基眼目 オカミガイ科

Cassidula plecotrematooides

大きさ: 殻長0.9~1.3cm。

特徴: 本科は、陸地と海(汽水)の境界にあたる塩性湿地などに生息する。本種は、殻が卵形で、殻皮毛を有する。

分布: 三浦半島以南:中国南部。

汽水



ウラシマミミガイ

基眼目 オカミガイ科

Cassidula mustelina

大きさ: 殻長1.2~2.3cm。

特徴: 殻は厚手で、外唇が肥厚する。マングローブ樹種の幹や林内の底質表面に普通に見られる。

分布: 沖縄諸島:熱帯インド・西太平洋。

汽水



チビハマシノミガイ

基眼目 オカミガイ科

Melampus parvulus

大きさ: 殻長0.7cm。

特徴: 本科中で小型種。殻は卵形で、光沢をもつ。湿地内の朽ち木や転石の裏などに群生する。

分布: 沖縄諸島以南:熱帯西太平洋。

汽水



ヌノメハマシノミガイ

基眼目 オカミガイ科

Melampus granifer

大きさ: 殻長1.0cm。

特徴: 殻の表面は布目状となる。殻は褐色や白色など変異に富む。前種同様、転石下などに群生する。

分布: 奄美諸島以南:熱帯インド・西太平洋。

汽水

4. 貝類



エガイ

フネガイ目 フネガイ科

Barbatia lima

大きさ: 殻長5.5cm。

特徴: 殻の表面は網目状で毛状殻皮を有する。足糸で転石などに強固に付着する。

分布: 北海道南部以南。

干潟 藻場 サング礁



カリガネエガイ

フネガイ目 フネガイ科

Barbatia virescens

大きさ: 殻長5cm。

特徴: エガイに似るが、殻の中部がくびれる。足糸で転石などに強固に付着する。

分布: 北海道南部以南、フィリピン。

干潟 藻場 サング礁



リュウキュウサルボウ

フネガイ目 フネガイ科

Anadara antiquata

大きさ: 殻長6cm。

特徴: 南方系の大型アカガイ類。殻は重厚で、表面に殻皮を有する。まれに殻表面に本種の稚貝が付着している。食用種。

分布: 沖縄諸島以南: 東南アジア、ポリネシア、マダガスカル。

希少性: NT(沖)

藻場



ソメワケグリ

フネガイ目 タマキガイ科

Glycymeris reevei

大きさ: 殻長4.5cm。

特徴: 殻は重厚で、表面にピロード状の殻皮を有する。殻に白色が混じることもある。

分布: 紀伊半島南端、潮岬、足摺岬、鹿児島県以南: オーストラリア北東部、トラック島~トンガ。

希少性: NT(沖)

サング礁

4. 貝類



ウチワガイ

フネガイ目 タマキガイ科

Tuce-tona auriflua

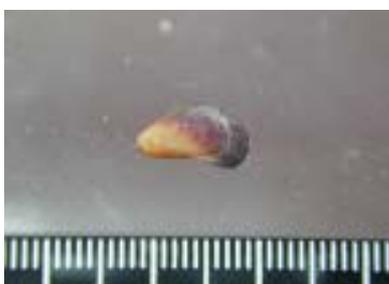
大きさ: 殻長4.8cm。

特徴: 殻は重厚でやや膨らむ。発達した放射筋が特徴的である。

分布: 奄美諸島、沖縄島:フィリピン、インドネシア。

希少性: EN(沖)

干潟



ヒバリガイモドキ

イガイ目 イガイ科

Hormomya mutabilis

大きさ: 殻長1.9cm。

特徴: イガイ科の小型種。護岸や干潟上の転石に多数が固まって付着する。

分布: 房総半島・日本海中部以南:熱帯インド・西太平洋。

干潟 汽水



ホソスジヒバリガイ

イガイ目 イガイ科

Modiolus philippinarum

大きさ: 殻長7.3cm。

特徴: イガイ科の大型種。頑丈な足糸で、海草類の地下茎に固着し生息する。潮干狩りで採取される食用種。

分布: 奄美諸島以南:熱帯インド・西太平洋。

希少性: NT(沖)

藻場



ヤマホトギス

イガイ目 イガイ科

Musculista japonica

大きさ: 殻長2.3cm。

特徴: イガイ科の小型種。沖縄県内では、産出例は少ない。

分布: 房総半島・日本海中部以南:東南アジア。沖縄島中北部。

希少性: DD(沖)

藻場

4. 貝類



アコヤガイ

ウグイスガイ目 ウグイスガイ科

Pinctada martensii

大きさ: 殻長7cm。

特徴: 殻の表面には鱗状の突起が形成される。真珠の母貝となる。転石などに足糸を用いて付着する。

分布: 房総半島・男鹿半島～沖縄。

藻場



クロチョウガイ

ウグイスガイ目 ウグイスガイ科

Pinctada margaritifera

大きさ: 殻長15cm。

特徴: 老成すると殻は重厚。殻内面は真珠層が発達する。黒真珠の母貝となる。

分布: 紀伊半島以南: 熱帯インド・西太平洋およびハワイ。

サンゴ礁



ニワトリガキ

ウグイスガイ目 シュモクガイ科

Malleus regula

大きさ: 殻高9～10cm。

特徴: 殻は濃い紫色。転石などに足糸を用いて付着する。

分布: 奄美諸島以南: 熱帯インド・西太平洋及びハワイ。

藻場



シュモクアオリ

ウグイスガイ目 マクガイ科

Isognomon isognomum

大きさ: 殻高9cm。

特徴: 殻は平たく板状。殻表面は暗褐色、内面は真珠層が発達している。

分布: 九州以南: 熱帯インド・西太平洋。

藻場

4. 貝類



ヘリトリアオリ

ウグイスガイ目 マクガイ科

Isognomon acutirostris

大きさ: 殻高3cm。

特徴: 殻は不定形で、暗褐色である。複数個体が固まって、岩盤の割れ目などに付着する。

分布: 四国以南: 熱帯西太平洋。

干潟



ハボウキガイ

ウグイスガイ目 ハボウキガイ科

Pinna bicolor

大きさ: 殻長35cm。

特徴: 大型の二枚貝類。足糸で底質中のれき等に付着し、殻の一部を底質表面に露出する。

分布: 房総半島・能登半島以南: 熱帯インド・西太平洋。

希少性: VU(沖)

藻場



イワカワハゴロモ

ウグイスガイ目 ハボウキガイ科

Pinna muricata

大きさ: 殻長12cm。

特徴: 殻の形状はハボウキガイに似るが、それより小型。殻表には鱗状の突起が発達する。

分布: 紀伊半島以南: 熱帯インド・西太平洋。

藻場



ユキミノガイ

ミノガイ目 ミノガイ科

Limaria basilanica

大きさ: 殻高5cm。

特徴: 殻はやや膨らむ。長く赤い触手を多数持つ。転石の裏などで見られる。泳ぐ習性がある。

分布: 房総半島以南: 熱帯インド・西太平洋。

希少性: VU(沖)

藻場

4. 貝類



シロスジナデシコ

カキ目 イタヤガイ科

Mimachlamys albolineata

大きさ: 殻高2.5cm。

特徴: イタヤガイ科の小型種。干潟の転石裏に付着している。

分布: 奄美諸島以南:西太平洋。

藻場



ウミギク

カキ目 ウミギク科

Spondylus barbatus

大きさ: 殻高7cm。

特徴: 右殻で石灰岩等に固着する。放射肋上に棘状の突起を持つ。羽地内海では好んで食される。

分布: 房総半島～沖縄。

希少性: NT(沖)

サンゴ礁



オハグロガキ

カキ目 イタボガキ科

Saccostrea mordax

大きさ: 殻高6cm。

特徴: 殻の縁は鋸歯状になり、黒みを帯びる。転石や護岸などに多数固着する。

分布: 紀伊半島以南:熱帯西太平洋。

干潟



チヂミウメノハナ

マルスダレガイ目 ツキガイ科

Wallucina striata

大きさ: 殻長1cm。

特徴: 殻は白色でやや膨らむ。殻表面には、細かな成長肋が見られる。

分布: 房総半島以南:台湾。沖縄島、宮古島、石垣島、西表島に分布。

希少性: NT(沖)

干潟

藻場

4. 貝類



カブラツキガイ

マルスダレガイ目 ツキガイ科

Anodontia edentula

大きさ: 殻長3.4cm。

特徴: 殻は薄く、よく膨らむ。生時は、軟体部が透けて見える。海草藻場の地中深くに生息する。

分布: 紀伊半島以南:東南アジア。

希少性: VU(沖)

藻場



カゴガイ

マルスダレガイ目 カゴガイ科

Fimbria soverbii

大きさ: 殻長9cm。

特徴: 殻は重厚で、やや膨らむ。殻表面には、板状の輪肋が目立つ。稀種で、サンゴ礁域でも見つかる。

分布: 奄美諸島、沖縄以南:オーストラリア北東部。

希少性: VU(沖)

藻場



オサガニヤドリガイ

マルスダレガイ目 ウロコガイ科

Pseudopythina macrophthalmensis

大きさ: 最大殻長0.3cm。

特徴: 微少種。殻の表面には光沢がある。オサガニ類の体表に付着することが知られている。

分布: 沖縄全域(大東島海域等外洋域を除く)。

希少性: DD(沖)

干潟

藻場



オキナワヒシガイ

マルスダレガイ目 ザルガイ科

Fragum lochooanum

大きさ: 殻長1.5cm、殻高1.5cm。

特徴: 全体的に四角く、殻の表面には鱗状突起を持つ。小型種。

分布: 奄美諸島以南。

希少性: NT(沖)

干潟

藻場

4. 貝類



カワラガイ

マルスダレガイ目 ザルガイ科

干潟 藻場

Fragum unedo

大きさ: 殻長5.5cm、殻高6.5cm、

特徴: 殻は重厚で、表面に赤い鱗状突起がある。沖縄伝統家屋の赤瓦が想起され、美しい貝である。

分布: 四国以南:東南アジア、北オーストラリア、インド洋。

希少性: VU(沖)



エマイボタン

マルスダレガイ目 ザルガイ科

藻場

Fulvia aperta

大きさ: 殻長5cm、殻高4cm、

特徴: 殻は薄く光沢があり、全体的に丸く膨らむ。殻表には放射状に殻皮毛がある。

分布: 房総半島以南:北オーストラリア、

希少性: NT(沖)



ハートガイ

マルスダレガイ目 ザルガイ科

藻場

Lunulicardia hemicardium

大きさ: 殻長2.5cm、殻高3.5cm、

特徴: 殻の後部はつぶれた形状を持ち、殻が合わさった状態では全体がハート型をしている。

分布: 奄美諸島以南。日本国内では奄美大島と沖縄島に局所的に分布。

希少性: EN(沖)



リュウキウザル

マルスダレガイ目 ザルガイ科

干潟 藻場

Regozara flavum

大きさ: 殻長5cm、殻高5.5cm、

特徴: 成長すると殻はよく膨らむ。足が発達し、飛び跳ねるように外敵から逃げることもある。食用種。

分布: 奄美諸島以南。

4. 貝類



イレズミザル

マルスダレガイ目 ザルガイ科

干潟 藻場

Vasticardium compunctum

大きさ: 殻長4cm、殻高6cm。

特徴: リュウキュウザルガイによく似ている。殻の後部に黒い模様がある。

分布: 奄美諸島以南:フィリピン。琉球列島においては、奄美大島と沖縄島に分布。

希少性: NT(沖)



ヒメシャコガイ

マルスダレガイ目 シャコガイ科

サンゴ礁

Tridacna crocea

大きさ: 殻長15cm、殻高10cm。

特徴: シャコガイ科の小型種。石灰岩などに穿孔する。方言でアジケーといい、水産重要種。

分布: 琉球列島以南:北オーストラリア



タママキガイ

マルスダレガイ目 バカガイ科

干潟

Mactra cuneata

大きさ: 殻長2.2cm、殻高1.8cm。

特徴: バカガイ科の小型種。殻はよく膨らむ。

分布: 奄美諸島以南:北オーストラリア。



リュウキュウバカガイ

マルスダレガイ目 バカガイ科

干潟 藻場

Mactra maculata

大きさ: 殻長6.5cm、殻高5cm。

特徴: 殻の表面を薄い殻皮がおおう。干潮時に干潟上に転がっていることがよくある。

分布: 紀伊半島~九州以南:中国大陸。

4. 貝類



リュウキュウアリソガイ

マルスダレガイ目 バカガイ科

Mactra grandis

大きさ: 殻長7~10cm。

特徴: 大型食用種。底質表面付近に生息し、干潮時に驚くと腰の高さまで水を吐く。

分布: 沖縄島以南:フィリピン、インドネシア、北オーストラリア

希少性: VU(沖)

干潟



ユキガイ

マルスダレガイ目 バカガイ科

Meropesta nicobarica

大きさ: 殻長4~5cm、殻高2.5cm。

特徴: 殻は薄く白色で殻皮をかぶる。底質に15cm位潜って生息する。

分布: 房総半島以南:熱帯インド・西太平洋。

希少性: NT(沖)

藻場



イソハマグリ

マルスダレガイ目 チドリマスオ科

Atactodea striata

大きさ: 殻長3.2cm、殻高3cm。

特徴: 殻は白色で、うすい殻皮をかぶる。主に砂浜に見られ、潮にあわせ移動する。

分布: 房総半島以南:ミクロネシア、熱帯インド・西太平洋に分布。

干潟



リュウキュウナミノコ

マルスダレガイ目 フジノハナガイ科

Latona faba

大きさ: 殻長2cm、殻高1.5cm。

特徴: 殻の色彩は変異に富む。イソハマグリやナミノコマスオと同所的に見られる。

分布: 奄美諸島以南:東南アジア、北オーストラリア、マダガスカル島。

干潟

4. 貝類



ヒメニッコウガイ

マルスダレガイ目 ニッコウガイ科

Tellinella staurella

大きさ: 殻長4cm。

特徴: 殻の表面には光沢があり、わずかに薄紅色の放射模様が見られる。

分布: 紀伊半島以南:トンガ、マダガスカル。

希少性: NT(沖)

藻場



ニッコウガイ

マルスダレガイ目 ニッコウガイ科

Tellinella virgata

大きさ: 殻長6.4cm。

特徴: 殻の表面に薄紅色の放射模様がある。海草藻場でみられる大型のニッコウガイ類。

分布: 奄美諸島以南:トンガ、マダガスカル。

希少性: EN(沖)

藻場



ダイモウガイ

マルスダレガイ目 ニッコウガイ科

Pharaonella perna

大きさ: 殻長7cm。

特徴: 殻は薄く、表面には光沢がある。殻色には、白、薄い黄色、ピンク色など変異に富む。

分布: 紀伊半島以南:北オーストラリア、南アフリカ。

希少性: VU(沖)

藻場



ヘラサギガイ

マルスダレガイ目 ニッコウガイ科

Tellinides timorensis

大きさ: 殻長4cm。

特徴: 殻は半透明で、軟体部が透けて見える。底質から掘り出しておくと、足をうまく使い素早く砂中に潜る。

分布: 沖縄島から西表島:中国大陸南岸、フィリピン、インドネシア、南中国海沿岸。

希少性: VU(沖)

干潟

4. 貝類



ヒラザクラ

マルスダレガイ目 ニッコウガイ科

Tellinides ovalis

大きさ: 殻長3.5cm。

特徴: 殻は半透明で光沢があり、薄紅色の放射模様がある。ニッコウガイと同所的に見られる。

分布: 房総半島以南: ハワイ、東南アジア、オーストラリア東北部、インド洋。

希少性: VU(沖)

藻場



ヒラセザクラ

マルスダレガイ目 ニッコウガイ科

Clathrotellina carnicolor

大きさ: 殻長2.7cm、殻高2.3cm。

特徴: ニッコウガイ科の小型種。殻はややふくらみがあり、表面は格子目になる。

分布: 紀伊半島以南: フィリピン、ニューカレドニア。

希少性: VU(沖)

藻場



イチョウシラトリ

マルスダレガイ目 ニッコウガイ科

Pistris capsoides

大きさ: 殻長4.2cm、殻高3.1cm。

特徴: 殻の表面には、成長脈が刻まれる。砂泥質の干潟に見られる種であるが、生息密度は低い。

分布: 北海道南西部以南: 東南アジア、インド洋。

希少性: NT(沖)

干潟



ウネイチョウシラトリ

マルスダレガイ目 ニッコウガイ科

Merisca perplexa

大きさ: 殻長0.25cm内外。

特徴: 殻の形は、イチョウシラトリに似る。殻の後端がとがるのが特徴。

分布: 沖縄本島および八重山。

希少性: DD(沖)

干潟

藻場

4. 貝類



リュウキュウシラトリ

マルスダレガイ目 ニッコウガイ科

Quidnipagus palatam

大きさ: 殻長5cm、殻高4cm。

特徴: 殻の表面には、不規則な波状の彫刻がある。砂れき質の干潟で普通に見られる。

分布: 紀伊半島以南:北オーストラリア、マダガスカル。

干潟



シボリザクラ

マルスダレガイ目 ニッコウガイ科

Jactellina clathrata

大きさ: 殻長2cm、殻高1cm。

特徴: 殻は薄く、表面に斜め方向の細かい彫刻を持つ小型種。

分布: 房総半島以南:ニューカレドニア。

藻場



サメザラモドキ

マルスダレガイ目 アサジガイ科

Semele carnicolor

大きさ: 殻長3.8cm。

特徴: 殻は円形でふくらみは弱い。干潟の砂れきだまりに埋在している。

分布: 紀伊半島以南:東南アジア、紅海。

藻場

干潟



リュウキュウマスオ

マルスダレガイ目 シオサザナミ科

Asaphis violascens

大きさ: 殻長6.7cm。

特徴: 殻は大型でふくらむ。淡水のしみだしがある岩礁の砂れきだまりなどで見られる。

分布: 相模湾以南:北オーストラリア、トンガ、インド洋。

干潟

4. 貝類



アシベマスオ

マルスダレガイ目 シオサザナミ科

Soletellina petalina

大きさ: 殻長1.1～1.2cm。

特徴: 砂質干潟に普通に見られる小型種。殻の色彩は変異に富む。高密度で分布することがある。

分布: 紀伊半島以南:西太平洋熱帯域。

干潟



ホソズングリアゲマキ

マルスダレガイ目 キヌタアゲマキ科

Azorinus minutus

大きさ: 殻長5cm。

特徴: 殻はやや細長く、表面は薄い殻皮で被われる。底質表面の特徴的な水管孔で生息場所が特定できる。

分布: 房総半島以南:中国大陸南岸、東南アジア、インド洋。

希少性: VU(沖)

藻場



ジャングサマテガイ

マルスダレガイ目 マテガイ科

Solen soleneae

大きさ: 殻長5cm。

特徴: 殻は細長く特徴的な形状をしている。近縁種のマテガイでは、巢穴に塩をふり、飛び出したところを採取する。

分布: 房総半島以南:東南アジア、インド洋。

藻場



シレナシジミ

マルスダレガイ目 シジミ科

Polymesoda erosa

大きさ: 殻長7～12cm。

特徴: マングローブ林などの水たまりで見られる大型種。泡瀬地区では少ない。

分布: 奄美大島、沖縄島、石垣島、西表島。

希少性: NT(沖)

汽水

4. 貝類



ハナグモリ

汽水 干潟

マルスダレガイ目 ハナグモリ科

Glauconome chinensis

大きさ: 殻長2cm。

特徴: 殻はやや細長い。マングロープに隣接した砂泥干潟などに生息する。

分布: 東京湾以南:朝鮮半島西岸~中国。

希少性: EN(沖)



シラオガイ

干潟 藻場

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Circe scripta

大きさ: 殻長4cm。

特徴: 全体的に薄く、丸みを帯びた形状をしている。底質表面に転がっているのを見かける。

分布: 房総半島以南、日本海西部:インド・西太平洋。

希少性: EN(沖)



オキシジミ

干潟

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Cyclina sinensis

大きさ: 殻長4.5cm。

特徴: 殻は重厚で、よく膨らむ。マングロープ林の周辺などに発達する砂泥質干潟で見られる。

分布: 房総半島~九州以南:朝鮮半島、中国大陸南岸。

希少性: EN(沖)



アラスジケマンガイ

干潟

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Gafrarium tumidum

大きさ: 殻長4.5cm。

特徴: 殻は重厚で、表面には太い放射肋がある。潮干狩りの対象種でおいしい。

分布: 奄美諸島以南:インド洋。

4. 貝類



ホソスジナミガイ

干潟

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Gafrarium pectinatum

大きさ: 殻長3.5cm。

特徴: アラスジケマンガイによく似ているが、本種はややふくらみが弱い。

分布: 紀伊半島以南:インド洋。



ヤエヤマスダレ

干潟

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Katelysia hiantina

大きさ: 殻長3cm。

特徴: アラスジケマンガイなどと同所的に見られる。潮干狩りで採取される食用種。

分布: 奄美諸島以南。

希少性: NT(沖)



スダレハマグリ

干潟

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Katelysia japonica

大きさ: 殻長5cm。

特徴: ヤエヤマスダレに似る。潮干狩りで採取される食用種。

分布: 九州以南。

希少性: NT(沖)



サラサガイ

サンゴ礁

藻場

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Lioconcha fastigiata

大きさ: 殻長3.5cm。

特徴: 殻は多少膨らみ、表面に石灰が沈着する。殻の様子は特徴的である。

分布: 紀伊半島以南。

4. 貝類



ユウカゲハマグリ

干潟 藻場

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Pitar citrinus

大きさ: 殻長4~5cm。

特徴: 殻の後端が茶褐色のものが多い。殻の表面に石灰が沈着する。

分布: 奄美諸島以南:東南アジア。

希少性: NT(沖)



イオウハマグリ

干潟 藻場

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Pitar sulfreum

大きさ: 殻長3cm。

特徴: 殻は厚く、丸みが強い。生時は殻の表面に泥を付着している。海草藻場でも見られる小型種。

分布: 房総半島以南:台湾。

希少性: NT(沖)



ヒメアサリ

干潟

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Ruditapes variegatus

大きさ: 殻長3cm。

特徴: アサリの近縁種。底質の表面近くや、転石下などに多く見られる。潮干狩りで採取される食用種。

分布: 房総半島以南:台湾、中国大陸南岸、東南アジア。



ヒメリュウキュウアサリ

干潟 藻場

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Tapes belcheri

大きさ: 殻長5.6cm。

特徴: 近縁のリュウキュウアサリにくらべ、殻の膨らみが強い。潮干狩りで採取される食用種。

分布: 奄美諸島以南:台湾。

希少性: NT(沖)

4. 貝類



リュウキュウアサリ

干潟 藻場

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Tapes literatus

大きさ: 殻長10cm。

特徴: 殻の膨らみは弱く、全体的に平たい形をしている。干潟の二枚貝類では大型種。生息密度は低い。

分布: 奄美諸島以南:オーストラリア北部。

希少性: EN(沖)



チリメンカノコアサリ

サンゴ礁 藻場

マルスダレガイ目 マルスダレガイ科

Veremolpa costellifera

大きさ: 殻長1cm。

特徴: 小型種。殻表に格子状の彫刻が見られる、色彩は変異に富む。

分布: 房総半島、能登半島以南。

希少性: DD(沖)



ツクエガイ

干潟 サンゴ礁

オオノガイ目 ツクエガイ科

Gastrochaena cuneiformis

大きさ: 殻長4cm。

特徴: 石灰岩や死サンゴ塊等に穿孔して生息する。

分布: 伊豆半島以南:熱帯インド・西太平洋域。